



鹿児島県臨床検査技師会の災害医療体制について

鹿児島県臨床検査技師会 会長 / 元鹿児島市医師会病院 診療支援部参与 |

有村 義輝

鹿児島市医師会の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から鹿児島県臨床検査技師会の運営に際しまして、心温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

我が国の災害医療体制は、阪神淡路大震災・能登半島地震での教訓を糧に、災害拠点病院、災害情報システムや様々な医療職による災害派遣チームなど、公助としての整備がなされてきております。また近年、発災時の自助・共助を含めた災害に対する国民意識は明らかに向上しております。医療機関においても施設規模に相当する医療機能を維持しながら被災者の医療救護活動が進められております。そんな中、臨床検査は、入院施設を有する医療機関において、患者の状態の管理や治療の判断、優先順位付けに必須であり、医療機関が被災した場合であっても、病院避難が実施されない限り臨床検査機能を持続することが必要であります。

鹿児島県臨床検査技師会（鹿臨技）は災害対策基本法及び都道府県における地域防災計画に基づき都道府県が行う保健衛生活動に対し、臨床検査の医療資源の分配や専門性から可能な救護活動支援体制の構築を考えております。

鹿臨技は以下の目的に災害対策マニュアルを策定しました。

- ・発災時の災害地域の～機能の維持・早期復旧
- ・鹿児島県内の被災状況を把握し、臨床

検査ニーズの収集に努める

- ・一般社団法人日本臨床衛生検査技師会への支援の要請
- ・あらゆる臨床検査分野に関する被災地の受援窓口組織と鹿児島県民及び本会員・施設に寄与すること

本災害対策マニュアルを基に、会員ならびに会員施設へ災害対策の推進を啓発するほか、発災時には臨床検査分野に関する受援と支援を可能にする体制を構築いたします。

【災害発生時の臨床技検査師活動詳細】

1. 鹿臨技が受け取ることができる救援活動内容
 - (1) 臨床検査技師の現地派遣
 - (2) 臨床検査関連の機器・試薬の提供や貸与
 - (3) その他検査関係の相談案件
2. 臨床検査技師が現地派遣により実施できる内容
 - (1) DVT（深部静脈血栓症）関連検査（下肢超音波検査、採血、POCT（臨床現場即時検査）による検査、弾性ストッキング着脱指導）
 - (2) 感染症疾患の検体採取とPOCT検査（インフルエンザ、新型コロナ、ノロ等）
 - (3) 弾性ストッキング着脱指導
 - (4) その他検査関係の相談案件
3. 提供や貸与ができる臨床検査関連の機器・試薬

感染症検査（コロナ、インフル、ノロ等）や生化学等の検査機器や試薬

※詳細は臨床検査メーカーが提供する資料に掲載されているものをご参照ください。

鹿臨技は、鹿児島県が被災した際の会員及び会員所属施設の状況確認のほか、被災地または感染拡大地域内の情報収集・医療（臨床検査）需要の把握に努め、資源の必要情報を発信いたします。また、各地からの支援としての臨床検査技師派遣や臨床検査関連物品（機器・試薬等と含む）の受入（受援）窓口を担い、被災地内で円滑かつ効率的な流れを築き被災地への負担を最小限にするよう努めます。この他、隣接都道府県が被災した場合の迅速な支援対応実行や本部業務代行の有無を把握する必要があります。

以上が災害医療体制の概要であります。

今後は鹿児島県との災害協定の締結に向

けての会議計画進めてまいります。また、鹿児島県医師会、市医師会、他各団体との協力体制も順次進めて参りますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、検査を通して技師会としての機能を十分に発揮し、鹿児島市医師会の先生方の診療支援チームの一員として活躍できる臨床検査技師の育成に努めるべく、技師会活動を行なう所存でありますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

